



主催：N P O 法人築地居留地研究会 後援：中央区

2021年3月度定例研究報告会

テーマ：『長崎と築地活版印刷所』

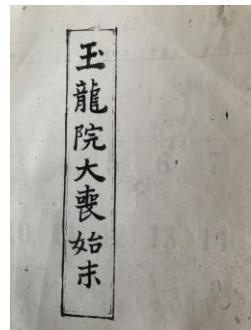
長崎における唐通事平井家とは。10代目平井義十郎は維新後の明治3年に明治政府より出仕を命ぜられ上京。名前も希昌（ユキマサ）に改名し、その後明治政府の各省庁で活躍。明治29年2月12日難病にて没す。同月15日盛大な葬儀が執り行われた。葬儀の大喪始末記には多くの政府高官の花輪がずらりと居並ぶ中、築地活版印刷所の花輪が一番最初に並べられている。平井希昌と多くの政府高官との人脈、築地活版印刷所との関係についてお話をしたいと思います。



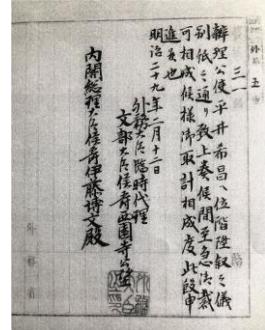
名村泰蔵



平井希昌



玉龍院大喪始末



内閣総理大臣伊藤博文宛

平井希昌正四位授与推薦書

（明治12年明治天皇御下「人物写真帖」より）



日 時：2021年3月27日（土）

14:00～16:00 講演+質疑応答

16:00～16:10 カトリック築地教会見学

場 所：カトリック築地教会 2階

中央区明石町5-26

講 師：平井靖人（ひらい やすひと）

長崎唐通事 平井家子孫13代目

東京都日本中国友好協会 理事

皇宫警察桐栄会 会員

聴講：無料 一般公開 予約不要 どなたでも聴講できます。

定員：50名 先着順

コロナ対策：検温、マスク着用、手消毒、ソーシャルディスタンシング対応

コロナ状況により開催に関しては中止・延期の可能性もある事をご了承下さい。

お問い合わせ先：03-3551-7595

カトリック築地教会へのアクセス

中央区明石町 5-26



地下鉄にてご来場の場合

- ・ 新富町（地下鉄有楽町線）駅 6番出口から徒歩 5 分
- ・ 築地（地下鉄日比谷線）駅 3番出口から徒歩 6 分